

加西の教育について

一般質問



別府 直 議員
(自民の風・誠真会)

問 今年の出生数と、新生児が将来1年生になるときの児童数について。

答 平成27年の2月28日時点での各小学校地区のゼロ歳児は、北条75人、北条東60人、富田25人、賀茂10人、下里25人、九会26人、富合15人、日吉11人、宇仁10人、西在田6人、泉16人、市全体では279人ですが、3月の出生数を加算すると、9%程度ふえるものと予想されます。

また、前述の新生児が小学生となる平成33年度の各小学校の予測児童数は、北条小447人、北

条東小335人、富田小130人、賀茂小77人、下里小142人、九会小236人、富合小144人、日吉小68人、宇仁小55人、西在田小70人、泉小139人、市全体では1,843人と予測されます。

問 今後複式学級が発生する可能性について。

答 平成33年度に1つの小学校で2年生、3年生で合計人数が14人となって複式学級になる可能性があります。それ以前について対象はありません。

問 魅力ある加西の教育の実現について、幼保から小中までを一つにまとめてスクールゾーンを形成してはどうか。例えば現加西中学校の周辺に小学校と幼保施設を設置すべきではないか。今後、飛行場から北へ道路が新設されれば、山林等開発による教育施

設や住宅団地等の可能性も出てくる。過去の視察においても、素晴らしい教育を実践する学校の周辺には人が集まり住んでいるのが見受けられた。学校施設・教育環境を整備し、ソフト面を充実させ「加西の教育は素晴らしい。加西へ住んでみよう」とするのが究極の目標となるのではないかと考えています。

答 今後の環境整備については、地域の方々や保護者のご意見をしっかり聞きながら議論を深め、また、児童生徒数の推移や財政面等を踏まえながら、市長部局とともに検討する必要があると考えています。

■その他の質問項目

- ・市立加西病院について
- ・農地中間管理事業について
- ・5万人都市再生について

加西市における男女共同参画の取組みについて

一般質問



高橋佐代子 議員
(自民の風・誠真会)

問 女性の各種委員会・審議会の参加者及び市役所管理職数、また、研修や女性登用のあり方について。

答 女性が占める割合は、委員総数298人のうち49名(16.4%、約6人に1人)、管理職60名のうち2名と、県下でも高くはないが、現在、係長及び課長補佐103名のうち40名が女性であるため、今後登用率は伸びていくものと考えている。

問 女性の参画は地域課題の解決に大変重要である。各市内団体の活動状況は。

答 いずれも新規会員等が少なく、加えて、若い世代の女性達の参加が課題。今後は女性だけの団体をつくる方向からも、男女が共に活動できる団体をつくっていくことも必要であると考えている。

問 子育て世代の女性の就労・介護支援等の環境整備と問題解決の取り組み状況について。

答 アンケート結果では、未就学児童の母親は、育児休業中7.8%、以前は就労していたが現在働いていない35.8%となっている。待機児童ゼロである加西市の保育・幼児教育は、施設・環境・質においても誇れるものである。病後児保育に加え、27年度からは全小学校区で6年生までの学童保育と開園時間の30分延長を実施する。介護については、地域や家庭の力を生かした環境の充実が

重要であると考えている。

問 ワークライフバランスの推進として、女性プロジェクトチームや市内企業の取り組みについて。

答 男性の意識改革が先決であるため、女性プロジェクトチームは現在のところ設置していない。先進的に取り組まれている事業所が1社あり、また、商工会議所が研修会を開催している。(平成22年度より全7回、合計624人受講)

要望 第二次かさい男女共同参画ゆめプランの基本理念にある、加西市民一人ひとりがお互いに尊重し合い、個性を認め、男女が対等な立場でその能力と個性が発揮できる、輝くふるさと加西を創造していただくようお願いしたい。